

アンリツ株式会社

2025年3月期 第1四半期 決算説明会 Q&Aサマリー

Q1: 通信計測事業のFY24Q1の業績について説明して欲しい。

A1: モバイルが低調でしたが、データセンター関連需要が好調でした。費用面では構造改革費用の発生と棚卸評価損が利益を押し下げました。

Q2: モバイルの需要状況をアップデートしてほしい。

A2: スマホの出荷台数は回復傾向ではあるものの、当社顧客はスマホ端末への開発投資に慎重な姿勢を継続しています。一方で、利活用領域としてはNTNに関して動きが出てきました。

Q3: 光トランシーバー製造向け計測器需要は今後も継続すると見込んでいるか？

A3: 計測器需要は好調に推移しています。現在の400GEモジュールから、今後の800GEモジュールへのシフトにより、引き続き計測器需要が期待できます。

Q4: 現在進めている構造改革について教えてほしい。

A4: 通信計測事業のなかにも好不調があるため、6Gに向けてリソースの最適化を実施しています。この構造改革は今期の業績目標達成のための施策のひとつです。